

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和 3年度

めざす姿	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	4 魅力ある農業の振興
施策関係課	(経済部)農政課・グリーンセンター／(農業委員会事務局)農業委員会事務局

●施策の基本方針(目標)

歴史と伝統を誇る植木を中心とする花きや野菜といった本市の農産物(生産地)のブランド力向上と販路拡大を図るとともに、首都圏で貴重な農地を保全する仕組みをつくることで、都市農業の振興につなげていきます。

●目標指標

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅲ-4)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)		現状値	49.9(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	49.500	0.000				
指標②	名称	市内総生産額(農業)				単位	百万円
	目標値	県内市町村における伸び率を上回る(令和7年度)		現状値	1,516(平成29年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	1,373.000	0.000				
指標③	名称	市民農園区画数				単位	区画
	目標値	951(令和7年度)		現状値	741(令和元年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	820.000	0.000				
指標④	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度計画額	令和6年度計画額	令和7年度計画額
	事業費	368,754	421,324	398,083	0	0
	概算人件費	170,403	161,315	155,925	0	0
	総事業費	539,157	582,639	554,008	0	0

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 49	単位施策② 52	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
				50.5	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和3年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 都市農業の振興								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
農政審議会経費	経済部	382	728	728	0	0	50	現状維持で実施
	農政課	5,925	5,005	5,005	0	0		
農業改良普及事業	経済部	3,165	5,600	5,600	0	0	54	現状維持で実施
	農政課	5,530	4,235	4,235	0	0		
国際園芸博覧会出展事業	経済部	16,686	28,622	—	—	—	54	現状維持で実施
	農政課	5,925	5,390	—	—	—		
農業施設設置助成事業	経済部	0	750	750	0	0	39	現状維持で実施
	農政課	1,975	1,925	1,925	0	0		
農業経営改善事業	経済部	54	70	70	0	0	46	現状維持で実施
	農政課	2,370	2,310	2,310	0	0		
園芸振興事業	経済部	1,036	5,700	5,700	0	0	54	現状維持で実施
	農政課	2,370	2,310	2,310	0	0		
川口緑化センター指定管理者管理運営費	経済部	145,477	151,570	154,733	0	0	48	現状維持で実施
	農政課	1,975	1,925	1,925	0	0		
植物取引センター指定管理者管理運営費	経済部	22,025	22,463	23,919	0	0	46	現状維持で実施
	農政課	1,580	1,540	1,540	0	0		
川口緑化センター等基本構想策定事業	経済部	5,280	—	—	—	—	48	完了
	農政課	1,185	—	—	—	—		
川口農業塾開催事業	経済部	557	—	—	—	—	34	完了
	農政課	1,738	—	—	—	—		
農業金融対策事業	経済部	2	43	42	0	0	48	現状維持で実施
	農政課	2,370	2,310	2,310	0	0		
グリーンセンター施設運営費	経済部	27,557	38,076	38,076	0	0	54	現状維持で実施
	グリーンセンター	1,659	1,617	1,617	0	0		
イベント広報事業	経済部	2,068	2,091	2,091	0	0	54	現状維持で実施
	グリーンセンター	31,600	30,800	30,800	0	0		
わんぱく広場遊園事業	経済部	41,628	43,453	43,453	0	0	44	拡充して実施
	グリーンセンター	11,850	11,550	11,550	0	0		
植物園花木展示事業	経済部	71,694	90,523	90,523	0	0	50	効率化して実施
	グリーンセンター	39,500	38,500	38,500	0	0		
花き園芸振興事業	経済部	25,564	15,852	15,852	0	0	50	効率化して実施
	グリーンセンター	39,500	38,500	38,500	0	0		
農地基本台帳管理費	農業委員会事務局	1,705	1,602	1,602	0	0	54	現状維持で実施
	農業委員会事務局	3,555	3,465	3,465	0	0		
農政関係広報事業	農業委員会事務局	166	183	266	0	0	50	現状維持で実施
	農業委員会事務局	1,738	1,694	1,694	0	0		
農作物生産等実態調査事業	農業委員会事務局	261	359	359	0	0	46	現状維持で実施
	農業委員会事務局	1,738	1,694	1,694	0	0		

単位施策名 ② 都市農地の保全								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
地域農業活性化事業	経済部	3,416	13,500	14,180	0	0	54	拡充して実施
	農政課	5,135	5,390	5,390	0	0		
農業体験事業	経済部	31	139	139	0	0	50	拡充して実施
	農政課	1,185	1,155	1,155	0	0		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	農政審議会経費				担当	経済部
						農政課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-258-1110 17511	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	53	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市農政審議会条例、川口市農政審議会規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農業振興に関する諸施策の計画的な推進を図る。		農政審議会を開催し、農業情勢の共有を図り、農業行政の推進について、意見交換等を行うもの。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	農政審議会の開催		川口農業ブランド制度に係る第三者評価組織として、制度運用及びブランド申請農産物に対し意見聴取を行い、当該ブランド制度の精査・拡充をはじめとした農業振興施策を展開した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		6 款	1 項	2 目	2 細目	1 細々目	農政審議会経費			
年度			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)			907				649		572		728		
決算額(B)=(C)+(D)			396				340		382				
財 源 ※	特定財源(C)		0				0		0				
	一般財源(D)		396				340		382		728		
概算人件費(E)			7,900				5,372		5,925		5,005		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.00	0.00	0.68		0.00	0.75	0.00	0.65	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)			8,296				5,712		6,307		5,733		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 ／60	川口農業ブランド制度をはじめとした農業振興に関する諸施策の計画的な推進を図るため、引き続き農政審議会において必要な調査及び審査を行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	農業改良普及事業				担当	経済部
						農政課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業改良普及事業交付金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業者及び農業関係団体		市民等、農業者及び農業関係団体	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	都市化の進展に伴う生産環境の変化や急速に発達した情報化時代に対応するため、農業生産及び経営技術の向上並びに意欲ある農業後継者の育成を推進し、都市農業経営の確立及び発展を図る。		・川口市花の文化展開催事業に対する支援・特産農業推奨事業に対する支援・農業後継者育成事業に対する支援・農産物産地化モデル事業に対する支援	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	農業者及び農業関係団体が実施する事業に対して交付金を交付した。		農業生産・経営技術の向上及び都市農業経営の確立・発展に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市花の文化展来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮(令和3年度からは前回実績値と同程度を目標値とする)				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		3,000.00		3,000.00		3,300.00		1,000.00		0.00
	実績値・達成状況	0.00	—	0.00	—	753.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	3 目	1 細目	3 細々目	農業改良普及事業			
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)		5,800		5,600		5,600		5,600		5,600		
決算額(B)=(C)+(D)		3,166		821		3,165						
財 源 ※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	3,166		821		3,165		5,600				
概算人件費(E)		5,530		6,715		5,530		4,235		4,235		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.85	0.00	0.70	0.00	0.55	0.00	0.55	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		8,696		7,536		8,695		9,835		9,835		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
54 ／60	ニーズに合った事業内容の検討並びに農業者及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	国際園芸博覧会出展事業				担当	経済部
						農政課
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	3	年度	～	令和	4	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興						
根拠法令等							

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市フロリアード2022出展実行委員会		川口市フロリアード2022出展実行委員会	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	本市の地場産業である植木を中心とする花きや造園をはじめとする緑化産業の振興を目的に、10年に一度、オランダで開催される国際園芸博覧会に出展し、安行植木のPRと販路拡張を図る。		国土交通省等と連携を図り、2022年にオランダのアルメーレ市で開催される国際園芸博覧会に本市特産農産物を出展するもの。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	2022年アルメーレ国際園芸博覧会(フロリアード2022)において日本庭園を制作するための支援を行い、緑化産業の振興に努めた。		2022年アルメーレ国際園芸博覧会(フロリアード2022)において日本庭園を制作するための支援を行ったことで、安行植木のPRひいては本市緑化産業の振興に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	6 款	1 項	3 目	4 細目	1 細々目	国際園芸博覧会出展事業		
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)	0	0		26,063		28,622		0	
決算額(B)=(C)+(D)	0	0		16,686					
財源※	特定財源(C)	0		0		0			
	一般財源(D)	0		16,686		28,622			
概算人件費(E)		0		0		5,925		5,390	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.70	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		0		22,611		34,012	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	国土交通省等と連携を図りながら、植木を中心とする花きや造園をはじめとする本市緑化産業の振興を目的に、緑化技術のPRを効率的かつ効果的に行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	農業施設設置助成事業				担当	経済部
						農政課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業施設設置助成事業助成金交付要綱、農業施設設置助成事業助成金交付基準					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業者及び農業法人等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	都市化の進展による農業経営環境の変化に対処するため、営農意欲のある農業者等が、農業施設の設置によって、経営の改善及び近代化の推進など集約的で付加価値の高い農業の振興を図る。	農業近代化資金の融資を受けて農業施設を設置する農業者等に対し、事業費の15%を助成する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	申請がなかったため未実施。	農業者等の経済的な負担を軽減し、経営の改善及び近代化の推進等に資するためHP等で制度の周知を図ったが、申請がなかった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		6 款	1 項	4 目	1 細目	2 細々目	農業施設設置助成事業			
年度			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)			750		300		750		750		750		
決算額(B)=(C)+(D)			0		0		0						
財 源 ※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		0		0		0		750				
概算人件費(E)			1,580		1,185		1,975		1,925		1,925		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.20	0.00	0.15	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)			1,580		1,185		1,975		2,675		2,675		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	低かった	9 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以下	9 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	不明	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
39 ／60	設備投資により農業経営の改善及び近代化を図ろうとする農業者の負担軽減のために必要な事業であるが、平成22年度以降申請がないため、周知方法を拡充するとともに、ニーズに合った事業内容を検討する。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	農業経営改善事業			担当	経済部 農政課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	11	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	認定農業者、認定新規就農者(農業経営基盤強化促進法に基づき、市等が農業経営改善計画又は青年等就農計画を認定した農業者)及びその他の農業者		認定農業者、認定新規就農者(農業経営基盤強化促進法に基づき、市等が農業経営改善計画又は青年等就農計画を認定した農業者)及びその他の農業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農業経営基盤強化促進法に基づき市が策定した基本構想に示された効率的かつ安定的な農業経営体を目指して、自らの農業経営を改善しようとする意欲及び能力のある農業者を育成及び支援する。		埼玉県職員及び農協職員の参画のもと、農業経営改善計画等の認定を行うとともに、農業経営の向上などを目的とした研修会を開催する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・農業経営改善計画の認定・農業経営改善研修会の開催		自らの農業経営を改善しようとする意欲及び能力のある農業者の育成につながった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	農業経営改善研修会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	認定農業者数の3分の1				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		19.00		20.00		15.00		14.00		14.00
	実績値・達成状況	0.00	—	8.00	未達成	6.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	2 目	3 細目	1 細々目	農業経営改善事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		71		77		65		70		70
決算額(B)=(C)+(D)		0		40		54				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	0		40		54		70		
概算人件費(E)		1,975		2,370		2,370		2,310		2,310
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,975		2,410		2,424		2,380		2,380

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	低かった	5 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
46 ／60	令和2年4月からの制度改正により、営農地によって認定農業者の申請先が細分化されたため、県等の認定庁と連携を取りながら、円滑に事務の執行ができるようにする必要がある。特に、認定期間の更新を迎える認定農業者に対しては、制度周知を含め、計画的に再認定に係る事務を進める。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	園芸振興事業			担当	経済部	
					農政課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、園芸振興事業交付金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	農業関係団体		市民等及び農業関係団体		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	産地間競争の激化による価格競争や生産・流通機構の変化等に伴う厳しい農業経営環境に対応するため、農業関係団体の生産及び販売体制の近代化並びに販路拡張を図る。		・川口市安行の花・緑と物産展示即売会開催事業に対する支援・並木元町公園花植木市開催事業に対する支援・展示・即売会参加事業に対する支援・展覧会等参加事業に対する支援		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	農業関係団体が実施する事業に対して、交付金を交付した。		植木を中心とする花きの生産及び販売体制の近代化並びに販路拡張を図るとともに、特産園芸の普及宣伝に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	安行の花・緑と物産展示即売会来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮 (令和3年度からは前回実績値と同程度を目標値とする)				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		20,000.00		20,000.00		17,500.00		17,500.00		0.00
	実績値・達成状況	17,556.00	未達成	0.00	—	0.00	—			
指標②	名称	並木元町公園花植木市来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮 (令和3年度からは前回実績値と同程度を目標値とする)				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		4,000.00		4,000.00		7,300.00		4,800.00		0.00
	実績値・達成状況	7,346.00	達成	0.00	—	4,820.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	3 目	1 細目	2 細々目	園芸振興事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		5,700		2,717		1,048		5,700		5,700
決算額(B)=(C)+(D)		5,476		145		1,036				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	5,476		145		1,036		5,700		
概算人件費(E)		1,580		1,975		2,370		2,310		2,310
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.25	0.00	0.30	0.00	0.30
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		7,056		2,120		3,406		8,010		8,010

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	ニーズに合った事業内容の検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	川口緑化センター指定管理者管理運営費				担当	経済部
						農政課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1110 17511	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口緑化センター設置及び管理条例、同施行規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口緑化センター		農業者及び市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	指定管理者により川口緑化センターを管理運営することで、植木を中心とする花き等、本市の特産農業の振興を図り、豊かな自然環境の保全及び地域社会の発展に寄与する。		指定管理者により川口緑化センターの管理運営を行う。・特産農業の振興に関する業務(講習会及び体験事業等の実施並びに情報収集及び情報提供等)・川口緑化センターの利用許可に関する業務・川口緑化センターの施設及び設備の維持管理に関する業務	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	指定管理者による管理運営・各種講習会、園芸相談及び展示会等の実施・会議室等の貸与・施設の維持管理及び軽易な修繕・物品販売		緑化団体と連携している公益財団法人川口緑化センターが指定管理者となることにより、効果的で効率的な施設運営がなされ、特産農業の振興及び地域社会の発展に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	3 目	2 細目	3 細々目	川口緑化センター指定管理者管理運営費	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		138,012		131,542		145,477		151,570		154,733
決算額(B)=(C)+(D)		138,012		131,542		145,477				
財源※	特定財源(C)	6,927		7,966		8,094		7,657		
	一般財源(D)	131,085		123,576		137,383		143,913		
概算人件費(E)		1,580		1,975		1,975		1,925		1,925
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		139,592		133,517		147,452		153,495	
										156,658

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
48 ／60	施設の長寿寿命化のための個別施設計画を作成した。令和4年度以降は計画を実行する必要がある。また、引き続き、植物取引センターも含めた周辺整備計画を検討する必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	植物取引センター指定管理者管理運営費				担当	経済部
						農政課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1110 17511	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	24	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市営植物取引センター設置及び管理条例、同施行規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口緑化センター		農業者及び市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	指定管理者により川口市営植物取引センターを管理運営することで、植木を中心とする花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化を促進するとともに、特産農業の振興を図る。		指定管理者により川口市営植物取引センターの管理運営を行う。・花きの生産及び流通に関する情報の収集、分析及び提供・川口市営植物取引センターの施設及び設備の利用に関すること	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	指定管理者による管理運営・植木等の生産及び流通に関する情報の収集、分析及び提供・施設の利用許可・施設の維持管理及び軽易な修繕		緑化団体と連携している公益財団法人川口緑化センターが指定管理者となることにより、効果的で効率的な施設運営がなされ、花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化が促進され、特産農業の振興が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	6 款	1 項	3 目	2 細目	5 細々目	植物取引センター指定管理者管理運営費			
年度	令和元年度	令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)	19,089	19,871			22,025		22,463		23,919	
決算額(B)=(C)+(D)	19,089	19,871			22,025					
財源※	特定財源(C)	5,846	6,961			6,777	6,680			
	一般財源(D)	13,243	12,910			15,248	15,783			
概算人件費(E)		1,343	1,975			1,580	1,540		1,540	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.17	0.00	0.25	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	20,432	21,846			23,605		24,003		25,459	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 ／60	施設の老朽化が激しく今後の施設のあり方を考える必要がある。引き続き、川口緑化センターも含めた周辺整備計画を検討する必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	川口緑化センター等基本構想策定事業				担当	経済部
						農政課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-9020 17512	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	3	年度	～	令和	3	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興						
根拠法令等							

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口緑化センター及び川口市営植物取引センター	川口緑化センター及び川口市営植物取引センターの利用者並びに市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口緑化センター及び川口市営植物取引センターは、開所から相当な年数が経過し老朽化が進んでいることから、今後施設の改修が必要となるため、当該施設の改修にあたり求められる役割や機能等について一体的に検討を行う。	川口緑化センター及び川口市営植物取引センターの設置目的や道の駅に求められる機能を基本として、他の類似施設との差別化を図りつつ、第5次川口市総合計画や川口市農業基本計画を踏まえた基本構想を策定する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	川口緑化センター及び川口市営植物取引センターに求められる役割や機能等を明確にした基本構想を策定した。	基本構想を策定し、今後の計画等を効果的、効率的に行うための基礎とした。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		6 款	1 項	3 目	2 細目	7 細々目	川口緑化センター等基本構想策定事業			
年度			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)			0		0		5,643		0		0		
決算額(B)=(C)+(D)			0		0		5,280						
財 源 ※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		0		0		5,280		0				
概算人件費(E)			0		0		1,185		0		0		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.15	0.00	0.00	0.00	0.00	
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			0		0		6,465		0		0		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 ／60	厳しい財政状況の中、川口緑化センター及び川口市営植物取引センターを効率的かつ効果的に整備・管理するため、さらなる検討を進める必要がある。	翌年度	完了
		翌々年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	川口農業塾開催事業				担当	経済部 農政課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1110 17511	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	21	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	都市化の進展、農業従事者の高齢化及び担い手不足により、農地及び農家数が減少しているという現状を踏まえ、意欲ある農業の担い手の育成及び確保を図る。		令和元年で事業開始から10年が経過し、川口農業塾の今後について検討を行うこととし、令和2年から事業を一旦休止している。農業塾研修用農地の維持管理は引き続き行っている。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・草刈り等、研修用農地の維持管理・農業の担い手育成に係る新施策の検討・研修用農地利活用案の検討		研修用農地を適切に管理し、農地活用案及び担い手育成に係る新施策の検討を進めた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口農業塾修了生数			指標・目標値の説明(算定式)	受講生の100%修了を目指す				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		16.00		0.00		0.00		0.00		0.00
	実績値・達成状況	14.00	未達成	0.00	—	0.00	—			
指標②	名称	見沼たんぼ就農予備校への入学者数			指標・目標値の説明(算定式)	就農意欲を継続(ステップアップ)とみなし成果とする				
	単位	人	指標の種別	成果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		5.00		0.00		0.00		0.00		0.00
	実績値・達成状況	0.00	未達成	0.00	—	0.00	—			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	3 目	3 細目	2 細々目	川口農業塾開催事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		1,766		703		597		0		0
決算額(B)=(C)+(D)		1,400		610		557				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,400		610		557		0		
概算人件費(E)		2,370		3,950		1,738		0		0
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.50	0.00	0.22	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		3,770		4,560		2,295		0		0

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以下	5 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	不明	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 ／15	公平性	受益者の資格条件	受益者なし	11 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	受益者なし	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
34 ／60	川口農業塾の目的である「農業経営の担い手となるような人材の育成及び確保」として「明日の農業担い手育成成熟事業」を計画。令和4年度より事業を行っていく。		翌年度	完了
			翌々年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	農業金融対策事業			担当	経済部	
					農政課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	59	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	農業近代化資金融通法、埼玉県農業経営改善関係資金基本要綱、埼玉県農業近代化資金取扱要綱、川口市補助金等交付規則、川口市農業近代化資金利子補給に関する条例、施行規則、取扱要綱 等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業者及び農業法人等	農業者及び農業法人等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農業経営の安定化、近代化及び生産の増強を図る。	農業者等が、農業経営の改善のために資金を借り入れた場合に、利子の一部を補給する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	令和3年度新規借入分の利子に対して補給を行った。	農業者等の経済的負担が軽減され、経営の安定に資するとともに、農業意欲の向上を図った。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		6 款	1 項	4 目	1 細目	3 細々目	農業金融対策事業			
年度			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)			138				40	40		43		42	
決算額(B)=(C)+(D)			13				0	2					
財 源 ※	特定財源(C)		0				0	0		0			
	一般財源(D)		13				0	2		43			
概算人件費(E)			1,185		1,580		2,370		2,310		2,310		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.15	0.00	0.20	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)			1,198		1,580		2,372		2,353		2,352		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	農業者の高齢化等により設備投資が抑制されているが、今後はニーズを把握し、事業活用・必要性を含め検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	グリーンセンター施設運営費			担当	経済部 グリーンセンター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	42	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	グリーンセンターの円滑な施設運営と入園者の利便性を高めること。		入園券・案内パンフレット等の印刷、売札委託業務、券売機借上げ。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	入園券印刷ロール紙の購入、売札業務委託、自動券売機の借上業務の実施、グリーンセンターの運営に必要な消耗品等の購入。		グリーンセンターの円滑な施設運営と入園者の利便性を高めることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	6 款	1 項	5 目	3 細目	1 細々目	グリーンセンター施設運営費		
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)	25,955	27,904		27,579		38,076		38,076	
決算額(B)=(C)+(D)	25,775	27,774		27,557					
財源※	特定財源(C)	7,223	13,340		14,250	31,860			
	一般財源(D)	18,552	14,434		13,307	6,216			
概算人件費(E)		1,659	1,659		1,659	1,617		1,617	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.21	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00	0.21
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		27,434	29,433		29,216	39,693		39,693	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	売札業務委託に係る人件費が年々上昇しており、今後、予算の削減に伴う人員削減等によるサービス、安全性の低下が懸念される。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	イベント広報事業			担当	経済部 グリーンセンター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	43	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民への緑と憩いの場を提供し、心身の健康増進に資するとともに、当センターの集客増を図り、本市の知名度を向上させる。		・イベント開催・園芸教室・林間教室	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	●イベント開催 桜草展・菊花展・洋蘭展等●園芸教室 花の寄せ植え・柑橘類の育て方・盆栽の寄せ植え等●林間教室 カブト虫を育てよう		入園者に憩いの場や家族等とのふれあいの場を提供し、心身の健康増進に資することができた。園芸・林間教室では、多種多様な植物等への興味や関心を促し技術や知識を広めることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	6 款	1 項	5 目	3 細目	2 細々目	イベント広報事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	16,559	2,091		2,091		2,091		2,091		
決算額(B)=(C)+(D)	15,517	2,009		2,068						
財源※	特定財源(C)	7,596		1,794		1,538		1,846		
	一般財源(D)	7,921		215		530		245		
概算人件費(E)		31,600		31,600		31,600		30,800		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	47,117		33,609		33,668		32,891		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	課題:子どもを含めた若者世代が植物に興味や関心を持つことができ、また、コロナ禍においても安全に実施できるイベントを開催していく。		翌年度	現状維持で実施
	方策:植物を楽しく見せ学ぶことができ、新しい生活様式に配慮したイベントの開催。市民(入園者)ニーズを的確に捉えたイベントの検討。		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	わんぱく広場遊園事業			担当	経済部 グリーンセンター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	60	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	わんぱく広場の施設維持及び管理運営を行う		ミニ鉄道の保守運行管理、わんぱく広場の清掃、樹木、芝生等の管理及び遊具の安全な使用に関する指導等。わんぱく広場の施設の維持管理	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	わんぱく広場の施設修繕ミニ鉄道の保守運行管理		安全・安心な施設維持および管理運営ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	5 目	3 細目	3 細々目	わんぱく広場遊園事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		65,263		40,914		42,092		43,453		43,453
決算額(B)=(C)+(D)		64,726		40,397		41,628				
財源※	特定財源(C)	26,115		28,084		37,864		33,479		
	一般財源(D)	38,611		12,313		3,764		9,974		
概算人件費(E)		11,850		11,850		11,850		11,550		11,550
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		76,576		52,247		53,478		55,003		55,003

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	不明	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
44 ／60	施設等の老朽化が顕著であり、小規模修繕等では対応できないことが多くなっている。人気施設であるミニ鉄道は、今後、大規模修繕が必要になることから、活性化基本計画を受け、整備・改修時期を検討し、適正な更新・修繕を実施していく。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	植物園花木展示事業			担当	経済部 グリーンセンター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	42	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	季節の植栽・展示を行い緑化意識の高揚を図る。		花木等の栽培管理及び企画展示鳥類の飼育園内インフラ及び施設等の維持管理園芸、造園及び緑化等の相談及び啓発委託業務の指導、監督	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	園内の樹木・芝生・花壇等の維持管理。鳥類の飼育等。園芸相談やガイドツアーの実施。樹木管理委託等の業務設計・指導・監督等。園内施設等の修繕対応。		入園者へ四季折々季節ごとの植物展示や適切な植栽管理を行うことができ、緑化意識の高揚及び緑化知識の向上が図れた。また、施設の安全性向上のため、不具合箇所等を早期に発見し、修繕等の対応を行った。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	5 目	3 細目	4 細々目	植物園花木展示事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		85,907		73,128		73,257		90,523		90,523
決算額(B)=(C)+(D)		85,144		72,275		71,694				
財源※	特定財源(C)	26,845		16,263		16,768		15,701		
	一般財源(D)	58,299		56,012		54,926		74,822		
概算人件費(E)		39,500		39,500		39,500		38,500		38,500
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	124,644		111,775		111,194		129,023		129,023

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 ／60	入園者に対して、更なる緑化啓発の向上を図るため、時代に合った展示方法等を行う必要がある。また、施設の維持管理については、今後の再整備を考慮し、優先順位をつけて対応する必要がある。		翌年度	効率化して実施
			翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	花き園芸振興事業			担当	経済部 グリーンセンター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	42	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等		市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	農業の振興並びに入園者、市民の緑化意識の高揚を図る		園芸植物の育成、展示及び品種保存園芸振興施設、公開温室、鑑賞温室の維持管理園芸技術研修・実習、体験学習の受入れ・指導委託業務の監督・指導		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	熱帯植物、ラン類、椿、サクラソウ等園芸植物の育成、展示寄託植物受入れ育成、保存、盆栽貸出し園芸植物の展示会実施、作業ボランティア受入れ・指導温室、園芸振興施設の維持管理及び修繕盆栽、園芸振興施設、植物管理委託等の設計・指導・監督		園芸植物を適切に管理し、展示を行ったことにより、入園者への園芸植物の知識の普及、啓発、緑化意識の向上を図ることができた。また、作業ボランティアの受入れ指導の実施により、園芸植物栽培の知識の普及と技術の向上を図ることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	6 款	1 項	5 目	3 細目	5 細々目	花き園芸振興事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	24,568	24,299		25,845		15,852		15,852		
決算額(B)=(C)+(D)	23,730	22,579		25,564						
財源※	特定財源(C)	6,743	9,679		10,727	10,082				
	一般財源(D)	16,987	12,900		14,837	5,770				
概算人件費(E)		39,500	39,500		39,500	38,500		38,500		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		63,230	62,079		65,064	54,352		54,352		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 ／60	入園者に対して、植物園ならではの資源、知識、技術を活用し、展示や催事を継続的に行う必要がある。今後、改修後の利活用促進のためにも、植物の魅力発信についてさらに内容を充実させ、継続的に行う必要がある。		翌年度	効率化して実施
			翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	農地基本台帳管理費				担当	農業委員会事務局	
						農業委員会事務局	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110(10330)	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	農地法第52条の2に備え、整備するもの					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等のうち農地所有者		市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	農地の状況、農家世帯の情報及び農家の経営状況等を電子データ化し、農地関係事務及び証明書発行事務の効率化を図る。		農地基本台帳システムの保守並びに最新の住基情報及び固定資産情報のデータ異動・更新処理を行う。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	農地基本台帳システムの保守並びに最新の住基情報及び固定資産情報のデータ異動の更新処理を行った。		農地基本台帳システムを最新データに更新し、農地基本台帳整備に係る調査をはじめとする農地関係事務及び証明書発行事務を適正に行うことができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	1 目	2 細目	2 細々目	農地基本台帳管理費	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		1,583		1,996		2,014		1,602		1,602
決算額(B)=(C)+(D)		1,463		1,676		1,705				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,463		1,676		1,705		1,602		
概算人件費(E)		3,555		3,555		3,555		3,465		3,465
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,463		1,676		5,260		5,067		5,067

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	農地基本台帳整備に係る調査をはじめとする農地関係事務及び証明書発行事務の執行にあたり、当該システムの情報は必要であるため、引き続き、情報の更新及び整理を確実に行う必要がある。また、国が提供する農業委員会サポートシステムの運用がより一層進んでいく状況となる場合には、一元化について検討が必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	農政関係広報事業				担当	農業委員会事務局	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110(10330)	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	51	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内の農政及び農地に関する情報について、各農家及び関係機関に提供するとともに、市民の農の理解を促進する。		農業だよりを発行し農家の世帯を中心に配布し、農業委員会や農政に関する情報を提供する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	令和3年度は2回発行した。7月号は川口市フロンティア2022出展実行委員会の国際園芸博覧会への出展や農地基本台帳に係る調査等の実施に関する記事を掲載し、12月号には川口農業ブランド認定農産物記念品贈呈式や新規就農者に関する記事を掲載し、農家等に情報提供した。		各農家及び関係機関に現在の農業委員会、農業及び農地に関する事項について周知することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	1 目	2 細目	3 細々目	農政関係広報事業				
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
予算額(A)		132				304		207		183		266	
決算額(B)=(C)+(D)		99				259		166					
財 源 ※	特定財源(C)	0				0		0		0			
	一般財源(D)	99				259		166		183			
概算人件費(E)		1,738				1,738		1,738		1,694		1,694	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.22	0.00	0.22		0.00	0.22	0.00	0.22	0.00	0.22	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,837				1,997		1,904		1,877		1,960	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 ／60	各農家に必要な情報提供の手段として必要であり、市民の農の理解促進のため、今後の掲載内容について画一的にならないよう工夫や情報収集が必要となる。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	農作物生産等実態調査事業				担当	農業委員会事務局	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110(10330)	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	22	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内に住所を有する農業者		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内に住所を有する農業者の農業生産の実態を把握して、農業行政の基礎資料とする。		農地基本台帳整備に係る調査に併せ、市内に住所を有する農業者を対象に農作物の品目ごとの販売量等、生産状況を調査し、集計したものを基礎資料として、県等の照会に対する回答の資料としても活用する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	令和3年8月に行われた農地基本台帳整備に係る調査に併せ、令和2年分農作物生産等実態調査表を各農家に郵送により配付し、回収した調査表を基に集計表を作成した。		市内営農者の農業生産の実態について調査を実施し、集計することにより、農業行政の基礎資料とした。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	6 款	1 項	1 目	2 細目	4 細々目	農作物生産等実態調査事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	456	436		377		359		359		
決算額(B)=(C)+(D)	382	265		261						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	382		265		261		359		
概算人件費(E)		1,738		1,738		1,738		1,694	1,694	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.22	0.00	0.22	0.00	0.22	0.00	0.22	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,120		2,003		1,999		2,053	2,053	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
46 ／60	令和2年度より、調査表の配付・回収を調査員による対面方式から直接農業者との郵送方式に変更したため回収率が減少したことから、令和3年度では、未提出者に対し勧奨通知を发出し、その結果回収率が改善した。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	地域農業活性化事業				担当	経済部
						農政課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-② 都市農地の保全					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、地域農業活性化事業交付金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	農業関係団体等		市民等及び農業関係団体等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	農業者間の連帯及び農業関係団体等の活性化を促進し、加えて地域住民との協調の上に立った農業の振興を図る。		・農業関係団体が主催する研修及び調査等に対する支援・農業祭開催事業及び緑と大地の豊年まつり開催事業に対する支援・農業協同組合が実施する市民農園の開設及び運営管理に対する支援・農業関係団体が行うブランド化事業に対する支援		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	農業関係団体等が実施する事業に対して、交付金を交付した。		地場産業である緑化産業の活性化を図るとともに、特産農産物の普及及び販売促進に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	緑と大地の豊年まつり来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	前回実績値と同程度				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		24,200.00		22,400.00		22,400.00		22,400.00		0.00
	実績値・達成状況	22,441.00	未達成	0.00	—	0.00	—			
指標②	名称	市民農園区画数			指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画後期基本計画目標指標(令和3年度から)				
	単位	区画	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		572.00		572.00		951.00		951.00		951.00
	実績値・達成状況	741.00	達成	795.00	達成	820.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	4 目	1 細目	1 細々目	地域農業活性化事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		18,600		4,693		4,763		13,500		14,180
決算額(B)=(C)+(D)		16,067		4,344		3,416				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	16,067		4,344		3,416		13,500		
概算人件費(E)		8,295		8,690		5,135		5,390		5,390
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.05	0.00	1.10	0.00	0.65	0.00	0.70
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		24,362		13,034		8,551		18,890		19,570

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	ニーズに合った事業内容を検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	農業体験事業			担当	経済部 農政課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-② 都市農地の保全					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の農への理解を促進するため、農業の初心者等で家庭菜園を楽しみたい方を対象に野菜づくりの知識とコツを学ぶ講座を開催する。		・家庭菜園講習会の開催	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	家庭菜園の基礎について学ぶ講習会を開催日時: 令和3年9月11日(土) 午後2時から4時場所: 川口市西公民館講座室人数: 30人		都市住民の生活に潤いを与えとともに、農ある暮らしの促進に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		6 款	1 項	2 目	4 細目	1 細々目	農業体験事業			
年度			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)			70		67		72		139		139		
決算額(B)=(C)+(D)			61		52		31						
財源※	特定財源(C)		27		30		15		60				
	一般財源(D)		34		22		16		79				
概算人件費(E)			1,185		1,185		1,185		1,155		1,155		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00	
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			1,246		1,237		1,216		1,294		1,294		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 ／60	市民の都市農業への理解促進と農ある暮らしを推進するため、参加者のニーズにあった講義内容及び開催場所を検討する。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	現状維持で実施